

一般社団法人 日本音楽療法学会会員各位

第 21 回日本音楽療法学会学術大会

実行委員会 宮本啓子

日本音楽療法学会学術大会 研究発表のお願い

新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は、第 21 回日本音楽療法学会学術大会の大会長を拝命しています宮本啓子と申します。突然で申し訳ないのですが、お願いしたいと文章にしました。この学術大会の研究発表・自主シンポジウム・ワークショップへの応募の件についてです。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い右往左往しての準備となりましたが、9 月に新潟県朱鷺メッセでの現地開催とオンライン開催との併用となりました。

しかし、ここにきて第 4 波の感染拡大の渦の中に飲み込まれそうな状態で、研究発表の応募期間が2週間後に迫ることを、多くの会員の皆様に認識されていないようで、少数の方の申し込みのみの状態であります。何とか、コロナに負けず、成功裏に大会を開催させたいと準備に頑張っている信越北陸支部の実行委員会を励ましていただけると嬉しいと思い、メールを送らせていただきました。

お願いしたいのは学術大会への参加はもちろんなのですが、まず、研究発表・自主シンポジウム・ワークショップへ応募をしていただきたいと思います。この会員が主体的に参加できるプログラムは、学術大会の命の部分だと考えています。どうかよろしく願いいたします。また、支部会員相互の知識の交流を行い、日本音楽療法学会の発展のためにも、支部会員、研究会会員、お知り合いの皆様へお伝え、お誘いをお願いしたいと思います。

また、混とんとしたコロナ状況の中、多くの人々に勇気と希望をもってもらうためにも、音楽療法学会の底力、頑張る姿を見ていただくためにもご協力をお願いしたいと思います。

大会の詳細につきましては、大会のホームページをご覧ください。

まずは用件のみとなりましたが、ご健康にはくれぐれもお気を付けください。